

会員だより

第42号

ふれあい

令和5年7月号

30周年記念特集号



全国統一
スローガン

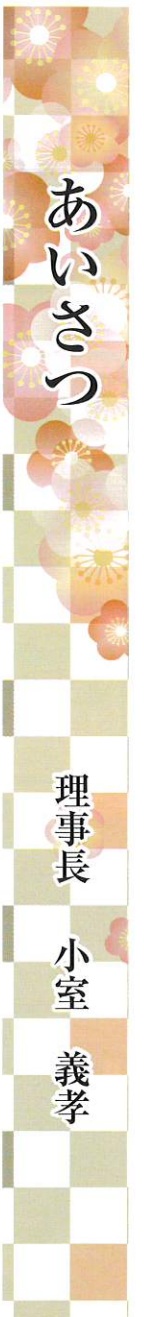
「安全は無理せず 焦らず 油断せず」



発行 公益社団法人 毛呂山町シルバー人材センター

〒350-0463 人間郡毛呂山町前久保南4丁目25番地32

TEL 049 (294) 7222・FAX 049 (276) 7779



会員の皆様方におかれましては常日頃、毛呂山町シルバー人材センター事業にご理解ご協力をいただき深く感謝申し上げます。また、今年度の総会におきまして19名の方々が表彰されました。誠に改めてとうございませう。今後も健康に留意され更なるご活躍を期待いたします。

新型コロナウイルス発生から3年余り経ち、コロナ禍の中、日本はもとより世界中が感染の脅威にさらされ医療の逼迫、経済活動の停滞等不自由な生活を余儀なくされて来ました。今年に入りようやく感染力が弱まったことで5月から感染症法上の分類が2類から季節性のインフルエンザと同じ5類に引き下げられ、徐々にではありますが経済活動、観光業等コロナ禍前に回復しつつあります。しかし完全に無くなるわけではないので引き続き注意をしていただきますようお願いいたします。

また、今年度の事業計画でございますが、令和4年度に作成しました「第二次中期3カ年計画」に基づき「会員の拡大」「就業機会の拡大」「財政基盤の強化」「組織体制の強化」「安全就業の徹底」を引き続き推進してまいります。特に会員の拡大と就業機会の拡大につきましては喫緊の課題でありますので現在プロジェクトチームを立上げて取り組みを始めています。各事業の充実を図りこれからは皆様がシルバー人材センターの会員になって良かったと思える環境づくりに努めてまいります。

さて、当センターは1993年(平成5年)に毛呂山町高齢者事業団として設立されました。その後「社団法人毛呂山町シルバー人材センター」そして現在の「公益社団法人毛呂山町シルバー人材センター」に移行し本年度30周年を迎えることが出来ました。

この歴史を振り返り、設立から事業を軌道に乗せるまで関係された方々の計り知れないご苦労があったことと思います。改めて心から感謝いたします。今後も引き続き努力を重ね、40周年、50周年を迎えられることが出来ますよう役員一同頑張っておりますので宜しくお願いいたします。

なお、「ふれあい42号」で創立30周年特集を掲載いたしましたのでご覧いただきたいと思います。

結びに会員の皆様方の益々のご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げ挨拶いたします。

定時総会開催

6月24日に毛呂山町東公民館において、令和5年度定時総会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症対策は緩和されつつありますが、慎重を期して出席者を限定しての開催とさせていただきます。

この総会に提案された議案はすべて原案のとおり可決承認されました。



はつらつ熟年《シリーズ35》

20年表彰会員の声

○井上 哲也

緑豊かなこの町を終の住み処と定めて40余年、齢85。この表彰は無量の歓です。希望を抱き余生を達者で生き抜く励みです。

○吉岡 昇

早いですね。入会して最初の仕事が草刈り伐採片付け、ジャングルの様な所でした。その場所が国の史跡に指定との事。20年間皆様に感謝しています。



15年表彰会員の声

○上原 博

早いものでシルバーに入会して15年、いろんな人と出逢い、毎日新鮮な気持ちで、仕事が出来て、ありがとうございます。

○小室 英昭

時の立つのは早いもので、最初は植木の水やり等短時間もの、最近は派遣か請負かによる対応変化、年齢は高齢化、体力は低下いつまで動けるか。

○宮田 忠夫

15年間いろいろな作業をしてきました。これからも健康に気をつけて、続けていきたいと思えます。



10年表彰会員の声

○金崎 千昭

紹介頂いた職場は人間関係がとも良く楽しく充実した10年でした。生活のリズムを守ることでフレイル予防にもなり深く感謝致します。

○古賀 征一

広報の編集に携わり会員の方たちの活動の様子や情報を皆さんに伝えてきました。これからも充実した内容の紙面作りに励みます。

○中村 富美江

専業主婦だった私にとってこちらとの出会いは大切な人間関係を築き感謝しています。これからも一日一日を大切に頑張りたいです。

○林口 勝明

シルバーにお世話になって10年良く働いた。コロナの時はいろいろと気苦労の連続でした。これからも健康に気を付けてまいります。

○矢幡 時吉

感謝状ありがとうございます。本当にうれしいです。仕事で週3日程度、一万歩以上を歩き、健康維持に最適です。頑張っていきます。



創立 30 周年によせて



祝 辞

毛呂山町長 井上 健次

このたびは、公益社団法人毛呂山町シルバー人材センター創立30周年を迎えられましたことに心よりお祝い申し上げます。

貴センターが、高齢者事業団として発足し、以来、順調な発展を遂げられていることは、歴代役員をはじめ会員皆様のご努力の賜物であり、そのご労苦に心から敬意を表する次第であります。

さて、全国的に少子高齢化が進み人口が減少している中で、町においても高齢者が地域社会の担い手として活躍されることが期待されています。事業主に対する70歳までの就業機会確保の努力義務化などにより、会員数の確保に苦慮されていることと存じますが、単身高齢者や高齢者のみの世帯の増加により、家事援助に關するニーズも益々高まってくる予見されます。「介護予防・日常生活支援総合事業」などの取組みについても推進していただき、地域社会の発展と就業意欲のある高齢者の受け皿としての役割を担っていただくことを期待しているところです。

町では、住民一人ひとりが心身共に健康な生活を送り、心の豊かさや幸せを実感できるまちの実現に向け、令和5年3月に「健康づくりのまち」を宣言しました。高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう、きめ細やかな行政運営に努めるとともに、社会参加を促す環境整備に取り組んでまいります。

結びに、貴センターのますますのご発展並びに会員の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げお祝いの言葉といたします。



30 年を迎え更なる発展を

前理事長 三塚 正明

平成5年6月福祉会館の一角に、毛呂山町高齢者事業団が設立され早くも30周年、人生では働き盛りというところでしょうか。

迎えた30周年、これは今日まで、暑いにつけ、寒いにつけ、ご苦労いただいた皆さんの努力が、礎となっているものと思います。一日でも早い法人化を願ひ、会員の増強・事業量の拡大に努めると共に、行政の指導・援助を受けながら事業に取り組んだ結果、平成14年埼玉県知事の法人化の許可が得られ、これで国の補助が受けられると喜ぶとともに、「ようやく一人前の団体になったな」と、思いを新たにしました。

事務所と物置の前久保への移設、チップシュレッダーと薪割機の購入について、町と補助の折衝、更に補助金の確保など、当時のいろいろな苦労が思い出されます。こうした苦しい時にご支援を頂いた関係各位に、お礼を申し上げます。

現在は公益法人として、地域社会からも認められる存在となり、高齢化社会の現在、地域の皆さんのセンターに対する期待は、ますます大きいものとなっております。

法人には法人として越えなければならぬ各種のハードルがありますが、地域の皆さんの期待に応えるためにも、一致団結、力を合わせて乗り越え、更なる充実発展を図りましょう。

